

◆企画名 他大学交流（京都産業大学・甲南大学・関西大学 3 大学ピア・サポーター交流会）

日 程 平成 23 年 12 月 17 日（土）

場 所 京都産業大学 5 号館

参加者数 ピア・サポーター 6 名、事務職員 2 名

目 的

- 1 他大学のピア・サポート活動を知ること、自大学の活動を活性化すること
- 2 サポーターの説明能力（プレゼンテーション能力）のアップを目指すこと
- 3 他大学学生との交流を深めること

内 容

- 1 開会挨拶、各大学のピア・サポート活動報告（計：50 分）
- 2 ピア・サポート活動の問題点について話し合おう（計：60 分）
- 3 京都産業大学ピア・サポーターが実際に活動を行う場所の見学（15 分）

感 想

自分たちの活動を見直すいい機会になったと思う。活動報告や意見交換を通じて、大学の環境や体制に違いはあるが、「学生のために何かやりたい」という思いは共通していた。

自分たちの近くに同じ志を持つ仲間がいること、また同じような悩みを持ってそれぞれ活動を行っているということ、参加メンバーだけではなく、参加できなかった全ピア・サポーターとも共有したい。

今回の企画の最大の収穫は、改めて本学のピア・サポート活動に大きな可能性を感じたことである。普段の活動では得ることができない意見や考え方を知ることや、各大学の学生の熱意を肌で感じることで、自分の活動を振り返る材料となること、新しい人との繋がりを得ること、何より参加しているサポーターがお互いに「楽しい」と思える場を学生同士で作り上げる楽しさがある。このことは公式な場であろうと、非公式な場であろうと変わらない。また、どの大学も他の大学の活動に関して興味を抱いており、このような交流の場を今後も作っていければ等の意見が挙がっていた。

このような他大学との交流を定期的に続けていくことで、本学のピア・サポート活動の発展に繋がると強く感じており、今後の活動においても積極的に取り入れていきたい。

改善点

参加を決定したのが遅く、少人数での参加となってしまった点があげられる。今後は、ピア・サポーター全体としての意思決定をよりスムーズにするとともに、今回のような交流会の魅力についても伝えることで、より多くのピア・サポーターが、他大学との交流を通して、たくさんの気付きを得る機会を提供し、本学のピア・サポート活動の発展へと繋げていきたい。

